



原田 博

- 大竹市公立保育所の今後のあり方への具体的推進について問う。

山崎 年一

- 大竹市まち・ひと・しごと創生総合戦略・人口ビジョンを問う
- 平成28年度予算編成に臨む市長の方針を問う

田中 実穂

- 公共料金や市税などのコンビニ納付の導入について
- 防災減災対策について

日域 究

- 「鶏から卵」ではなく「卵から鶏」へ「まち・ひと・しごと」総合戦略
- 市営住宅は適切な管理運営がされていますか

賀屋 幸治

- 恵川橋補修工事に合わせた歩道橋の併設可否について
- 岩国大竹道路開通後の予想される渋滞対策について
- 新町雨水排水ポンプ場の計画変更に伴う今後の取組について
- 玖波7丁目及び湯舟町内の道路側溝改良について
- 公民館活動への支援の充実と活用策について

細川 雅子

- 障害者差別解消法施行に伴う準備について
- 障害者地域生活支援拠点の整備への取り組みについて

質問者 原田 博

保育所の今後のあり方、
具体的推進を望みます

問 市内に働く場があるのにもかかわらず、市内への定住が選ばれない要因として、「医療体制」「買い物などの利便性」などに対する不満が挙げられています。

これらの要因を解消していくよう取り組むとともに、教育・子育て環境をさらに充実させていくなど、若者・子育て層が定住したくなるようなまちとしての魅力を総合的に高めていく必要があると、総合計画基本構想で示されています。

その解決策の一つが保育所のあり方であり、公立保育所の再編など、今後の具体的且つ、明確な方向性を早急に示すべきだと考えます。

併せて、保育所を取り巻く環境は、施設の老朽化を始めとした課題が山積しています。再編に向けた、対応を問います。

しています。現在は、施設の整備方法や時期など計画に盛り込む内容を検討しているところです。

公立保育所の適切な配置については、公立保育所が抱える課題、施設の老朽化による児童・職員の安全確保や、現在の保育ニーズに対応した構造や設備、正規職員数の不足による安定的な保育の提供などへの不安、また、駐車スペースの不足による送迎時の事故の危険性や周辺環境への影響などの解消ほか、今後の保育需要の見込み、保護者の利便性、地域性、民間保育所の配置状況などから、効果的・効率的な保育所運営を考え、取り組んでいます。



立戸保育所

質問者 山崎 年一

「人口ビジョン」「総合戦略」を問う

問 大竹市も、国の要請に応じ人口の将来展望を示す「人口ビジョン」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。多くの自治体は国と同様の出生率を設定し、移住者や定住者を増やすなど、人口流出を食い止めることを前提として策定しています。本市の「人口ビジョン・総合戦略」を問う。

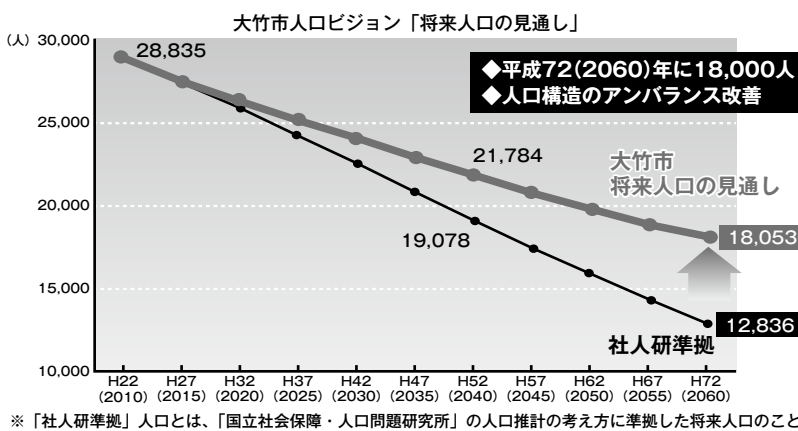
答 人口ビジョンは、客観的なデータや分析に基づき、将来の方向性を明示しています。総合戦略には、平成31年度までに実施しようとする施策を記載しています。特徴として、施策や事業の指標を設定しており、評価・検証しながら成果を確認し、よりよいものに改善していきます。

28年度予算編成方針を問う

問 来年度も引き続き、高齢化の進展により医療・福祉・介護など社会保障関連経費の増加が見込まれ、公共施設の老朽化も進んで

いる。今後も厳しい財政状況が続くと思うが、新年度の市長の予算編成方針を問う。

答 歳入の範囲でしか運営できない地方財政の仕組みにおいて、総合戦略の事業を実施するため、予算要求額の上限を設定し、歳出削減により財源を捻出します。また、ふるさと納税制度の活用など、新たな歳入確保にも取り組んでいきます。



質問者 田中 実穂

公共料金や市税などにコンビニ納付の導入を

問 隣の廿日市市も、11種類のコンビニ納付を開始しました。平日に市役所や金融機関に出向くのが難しい方の利便性を図るために、また、年末年始やゴールデンウィーク、更に国民の祝日が増え三連休が多くなっており、期間内納付を進める上からも、コンビニ納付の導入を求めます。

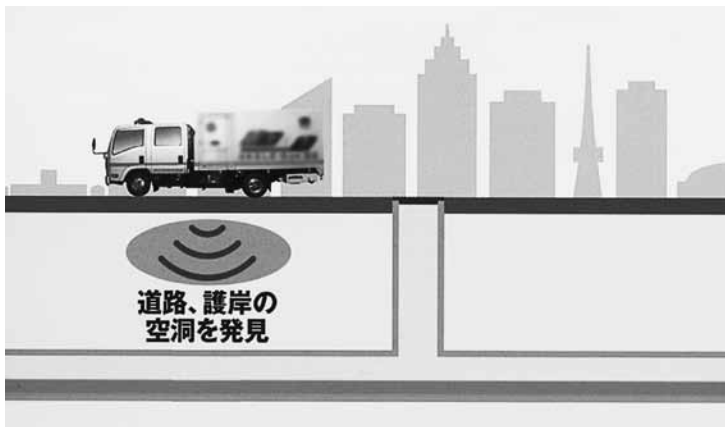
答 納税者の利便性向上を図るため、懸案事項のひとつとして、検討しています。納税者の利便性の向上は期待できるものの、導入コストに約900万円、ランニングコストが約350万円必要と見込んでおり、費用対効果の面から現在のところは、コンビニ納付の導入を見送り、口座振替払いの推進に努めています。

防災減災対策で、路面下の空洞調査の実施を

問 路面下の状況は容易に確認出来ません。埋設されている上下水道管などが老朽化し、亀裂により

空洞が発生し陥没の恐れがあります。全国で毎年5,000ヶ所の道路陥没が起っています。国の防災、安全交付金を活用して空洞調査の実施を！

答 路面陥没は、大きな事故につながる危険性があります。進化する調査機器の状況、調査費用、国の補助制度といった情報収集を行い、総合的に判断しながらレーダー探査機による「路面下空洞調査」の実施を検討していきたいと考えています。



質問者 日域 究

「まち・ひと・しごと創生」戦略

問 政府はお金まで配って地方創生戦略を作れと迫っています。今までのやり方を見直せとも言っています。

大竹市は石油危機までは企業の拡大に人口の増加が伴っていましたが、それ以降は企業業績にかかわらず働く人が減り人口も減少が続いています。それが30年も前から傾向でありながら、市の施策は企業の支援中心で今にいたっています。特に工業用地のための大願寺開発では残った127億円の借金を市民みんなで返済し続けているのが現状です。遂に人口は旧大野町を下回りました。

今こそ、大切な生活路を作るなど市民生活優先のまち作りに転換すべきです。「大竹は働く所であり、住む所ではない」これでは大竹の未来は描けません。方向を変えませんか。

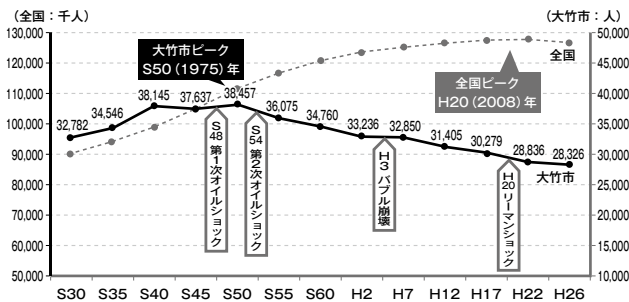
答 本市では、人口減少に対応するため、平成20年度に大竹市定住促進アクションプランを策定し、取組を進めた結果、社会動態は徐々に改善し、近年では転入超過

となっています。

今後は、わがまちプラン後期基本計画と総合戦略を一体のものととして、「まち・ひと・しごと」の各分野で、創業支援など暮らしに密着した取組、休日保育など子育て環境の充実、小方地区のまちづくりなど利便さや喜びを実感できる取組を進め、定住を促進していきます。

三者のバランスを図りながら、それぞれの施策・事業の相乗効果により、いま住んでいる方が住んでよかったと感じ、市外の方も住みたいと感じられる「よいまち」の実現にむけ、邁進していきます。

大竹市人口ビジョン「大竹市と全国の人口推移」



資料：国勢調査（昭和30（1955）年～平成22（2010）年）、総務省人口推計（全国）（平成26（2014）年10月1日時点）、住民基本台帳（大竹市）（平成26（2014）年9月30日時点）

大竹市では33年も前に人口が減り始めたが…

質問者 賀屋 幸治

恵川橋補修工事に合わせた歩道橋の併設可否について

問 平成28年度に予定されている恵川橋補修工事において、従前より玖波地区の先輩議員や住民の皆さんから切望されていた歩道橋の設置について、今回の補修工事に合わせた施工が可能なのかを問う。また、工事中の迂回路を含む安全対策を問う。

答 歩道の設置は検討した結果、構造的に可能と判断できましたので、整備に向けて取り組みます。

工事中の迂回路は、市広報やホームページで事前周知のうえ、工事業者決定後に地元説明会を行います。併せて、恵川橋周辺部の市道の点検や修繕により、安全対策を行います。

新町雨水排水ポンプ場の計画変更に伴う今後の取組について

問 大竹地区の雨水対策として注目をされているこのポンプ場は、計画変更に伴い完成時期の遅延が懸念されるが、改めて整備期間を問う。また、計画の整合性を

保ちながら一部施設を先行整備し早期の供用が可能なのかを問う。

答 事業計画変更を踏まえて、道路計画と下水道計画の詳細な検討に入れるようにしたいと考えています。また、一部施設の先行整備については、流入管渠の完成を待たずにポンプを運転可能にするなどの検討は可能と考えています。



現況の恵川橋（平成28年1月現在）

【その他の質問】

○岩国大竹道路開通後の予想される渋滞対策について

○玖波7丁目及び湯舟町内の道路側溝改良について

○公民館活動への支援の充実と活用策について

質問者 細川 雅子

障害者差別解消法施行に向けての準備の状況は？

問 障害者差別解消法が平成28年4月1日より施行されます。市は、市広報や「あいサポート」による市民や職員への啓発等を行ってきたと聞きましたが、ソフト面ハード面において整備すべき課題が残されているのではないかと思います。今後の課題と取り組みについてお尋ねします。

答 法施行までに、職員に対し、国や県が収集した障害を理由とする不当な差別的取扱や、合理的配慮のされた事例を配布、また、窓口対応や事務事業のさまざまな場面で適切な配慮ができるよう対応要領などを検討してまいります。

あいサポートシンボル (障害者サポーター シンボル)



「愛情」の「愛」、私の「ー」に共通する「あい」と、支える、応援する意味の「サポート」を組み合わせ、障害のある方を優しく支え、自分の意志で行動することを意味しています。

障害者地域生活支援拠点を大竹市に整備しませんか

問 地域生活支援拠点等の整備で国の示した指針によると、拠点の機能には相談事業はもとより、ショートステイやグループホームの機能が求められるようです。整備に向けての準備状況をお尋ねします。

答 平成27年3月に策定した第4期障害福祉計画における重点取り組み事項として、地域生活支援拠点の整備を挙げており、廿日市市を含めた障害福祉圏域における整備を目標として掲げていますが、実現するように頑張っております。



おおたけ手をつなぐ育成会
クリスマス会

議会日誌

- 11月4日～6日 生活環境委員会 先進地事例調査研究
- 6日 総務文教委員政策研究会
- 11日 全国市議会議長会
産業経済委員会（東京都）
- 17～19日 総務文教委員会先進地事例調査研究
- 19日 生活環境委員政策研究会
- 26日 議会運営委員会
小方地域まちづくり対策特別委員会
広報広聴特別委員会
- 27日 基地周辺対策特別委員会
- 12月 3日 本会議
- 4日 議員全員協議会
- 7日 総務文教委員会
総務文教委員協議会
総務文教委員政策研究会
議会改革調査会
- 8日 生活環境委員会
生活環境委員協議会
生活環境委員政策研究会

- 9日 小方地域まちづくり対策特別委員会
- 17日 本会議
議員全員協議会
- 24日 広報広聴特別委員会
- 1月13日 広報広聴特別委員会
広島県市議会議長会
西部ブロック議員研修会（廿日市市）
- 21～22日 石油基地防災対策
都市議会協議会（和歌山市）
- 【視察来訪】
- 11月10日 千葉市議会
市立小学校及び中学校の
空調設備設置について
- 16日 熊本県荒尾市議会
市議会だよりの編集について
- 1月12日 千葉県木更津市議会
公共交通について
- 28日 三重県名張市議会
定住促進について

11月～1月